

新年賀 謹



新たな地方創生に向けて

神崎町議会議員 高 柳 智

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は町議会に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は能登半島地震をはじめ、各地で甚大な自然災害が発生し、改めて災害の恐ろしさを痛感した年でもありました。

また、石破新内閣が発足しましたが、与党が過半数を確保できず、与野党協議が必要な新たな政治局面となっております。更に、資源不足、気候変動、エネルギー不足、円安等を起因とする物価高騰が続いており、我々の生活や経済を圧迫しております。一方、国際社会では、ウクライナやパレスチナでの紛争など、まだまだ、先行きが不透明な状況が続き、今もなお難民の方々が苦しんでおられます。1日も早い平和的解決を望んでやみません。

そのような中、地方創生が叫ばれ、今年ではや10年になります。神崎町は「発酵」をメインテーマとし、道の駅を中心に、小さな町だからこそできる、町民一人ひとりの顔が見えるきめ細やかなまちづくりを進めております。しかし、急速な少子・高齢化、人口減少への対応、国際化、情報化など、町民生活の安定のための課題は山積しております。

今、まさにまちづくりのあり方そのものが大きく問われております。

議会といたしましても、町村合併70周年を迎える本年、新たな地方創生として、地域の活性化や移住・定住対策への取組みは重要な課題であり、町民の方々が改めて子育てや日々の生活に活力を感じ、住みよいまち、住み続けたいと思うまちまづくり而努力してまいります。

結びに、町民の皆様が力を合わせ、明るく活力あるまちづくりにご協力下さるようお願いするとともに、町民の皆様のご多幸とご健勝をお祈りし、新年のご挨拶といたします。



神崎町の更なる発展を目指して

神崎町長 椿 等

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新年を穏やかに新たな夢を持って迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日早々に能登半島地震、夏には記録的な暑さと急な雷雨が国内各所で頻発する中、再び能登半島を豪雨が襲い、地域に甚大な被害を及ぼしました。改めて自然災害に対する防災力の向上や、備えの必要性を強く心に感じました。

町では、5年ぶりとなる「発酵の里こうざき酒蔵まつり」を3月に開催し、6万人を超えるお客様をお迎えすることができました。当日は、熊谷知事にもご来場いただき、知事とともに発酵文化の推進と、有機農業の生産から消費までの地域ぐるみの取り組みを「発酵×オーガニックビレッジ宣言」として発表しました。また、ユネスコでは、「日本の伝統的酒造り」が無形文化遺産として登録され、三百年以上の歴史・伝統を誇る2つの酒蔵を有し、成田国際空港に隣接する本町「発酵の里こうざき」の追い風となることを強く期待しております。

道の駅施設の改修工事につきましては、国による「圏央道神崎パーキングエリア」の完成時期が令和8年度に見直されたことと併せ、引き続き事業を進めてまいります。

道の駅周辺についても、「ハイウェイオアシス構想」のもと、芝生広場や遊具、ドッグランを含めた多目的広場の整備を検討していきます。

全国的に、少子高齢化が進み、地方の過疎化や衰退が課題となる中、神崎町では、「生き生きわくわく 人も発酵するまちこうざき」をスローガンに、郷土愛を育み、子供たちが、「神崎町」を誇れるようなまちづくりを皆様とともに、進めてまいります。

本年は、神崎町と米沢村が合併して70周年記念の節目を迎えることとなります。郷土を愛する多くの方々のためゆめ努力に感謝しつつ、この節目となる年を祝う各種記念事業を展開してまいります。

結びに今年一年が皆様にとって、素晴らしい年となることを御祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

